

# 九州北部豪雨を教訓に梅雨期の**長雨に警戒**を

土砂災害と雨量の間には、密接な関係があります。地中にしみ込んでいる水の量が多いほど、また、短時間に集中して降るほど、発生する数や規模が増します。

特に、土石流は、集中豪雨などの短時間の強い雨が引き金になります。がけ崩れのほとんどは、梅雨や台風の時期に発生しています。長雨などにより、地面に大量の水がしみ込み、斜面が弱くなっているためです。

雨量だけでなく、「斜面の傾きが大きい、崩れやすい地質である、植物があまり生えていない」などの場合は、崩れやすい要因になります。

雨が上がった後で災害が起こることもありますので、十分な警戒が必要です。



**家族・地域で備えて  
災害に強いまちへ**

## ふだんから備えておきましょう

～備えあれば憂いなし～

これから長雨が降りやすく、土砂災害の多い時期です。

### ■日ごろの防災注意

- ①雨の降り方をあなどらない。②気象情報をこまめにチェック！③事前に、家の回りの安全確認！④非常持ち出し品を備えておきましょう。⑤防災行政無線の電池は1年をめに交換しましょう。

### ■避難するときの心得

- ①避難場所の確認をしましょう。②情報の収集に努めましょう。テレビ・ラジオ等で情報収集に努めましょう。③避難の呼びかけがあったらすぐに避難を「避難の呼びかけ」がなくても、ご自身で「危ない」と感じたら、速やかに避難してください。④避難するときは、みんな一緒に。お年寄り等の避難に協力しましょう。⑤避難の荷物は最小限にしましょう。

### ■非常用持ち出し品の例

- ①運動靴、②軍手、③毛布、④衣類、⑤貴重品、⑥懐中電灯、⑦乾電池予備、⑧ラジオ、⑨ライター、⑩医薬品、⑪ヘルメット、⑫飲料水、⑬食料品、⑭缶きり、⑮ろうそく。

●問合せ 市民協働推進課消防防災係 Tel 75-4982

## 避難行動要支援者名簿への登録

うきは市では、地震や風水害などの災害が発生した場合や発生する恐れがある時に、自力で避難することが難しく不安を感じている方の避難行動（避難所への避難など）を、地域などで支援するため、国の法律に基づき、「避難行動要支援者名簿」を作成しています。

■申請方法 名簿への登録を希望する方（在宅の方に限る）は、「**避難行動要支援者名簿登録申請書兼個人情報の提供に関する同意書**」を記入して、市民協働推進課消防防災係まで提出してください。

※申請書は、市民協働推進課・福祉事務所・保健課・浮羽市民課に用意しています。（ホームページからもダウンロードできます）

●問合せ 市民協働推進課消防防災係 Tel 75-4982

